

# 未来のつばさ



## INDEX

P.2 理事長ごあいさつ

子ども達のためにできること

P.3 つばさTopic

諮問委員 大坂 欣哉  
(社会福祉法人 仙台キリスト教育児院・院長)

2009年度 育英奨学・自立支援  
応募者の選考を終えて

P.4 2009年度事業活動のご報告

P.6 紹介ひろば

児童養護施設 徳島児童ホーム

P.7 入会・寄付のご案内

支援者からの声 2010年度 育英奨学・自立支援のお知らせ

P.8 申請受付から選考、支援完了までのプロセス

Vol.10  
2010.6

# 子ども達のためにできること

特定非営利活動法人  
エキスパート児童福祉支援協会  
理事長 加苺 康作

2009年度も会員の皆様、寄付者の皆様のご支援のおかげで子ども達への支援を実施することができました。厚く御礼を申し上げます。

諮問委員からの報告にもある通り、支援予定者145名に対して355名の応募を受け付け、153名に支援することができました。運営費削減に協力していただいた関係各位にも御礼を申し上げます。

支援者の皆様と、受益者である子ども達をつなぐ役割を担うのが当協会であり、18歳で自立せざるを得ない状況におかれた子どもが、社会に暮らす多くの人が自分を気にしてくれていることに触れる支援として、一人でも多くの子どもに力添えをしたいと思っています。一方で、支援をできなかった子どものことを思うと、金銭的支援だけではなく、社会全体で彼らを温かく見守り育てることの必要性も強く感じます。

当協会への支援者の大半を占めるエキスパートグループの代理店の皆さんが集う催しがあり、そこで寄付者の方々に、当協会の活動状況や支援先の子ど

も達の近況について話す機会を頂戴しました。

寄付者の皆様からは、子ども達の様子を知ること、「もっと自分たちでできることは何だろう?」と考えるきっかけになったという声をお聞きしました。また、当日、同様に出席された児童養護施設の先生方からは、「施設を出る子ども達の現状を理解し支援いただけるのは本当にありがたい」「就職の場合も、初月は何かと費用がかかるので助かります」「先輩児童からの申し送りで、後輩が協会の制度の情報を得ており、将来を前向きに考える子ども達が増えました」等の声を頂戴しました。寄付者の方々、施設の先生方と直接お話ができたことで、協会の責務について一層強く感じた次第です。

今春も、多くの子ども達が夢と希望、そして不安を持ちながらも新しい環境での生活に向かって飛び立ちました。難しい環境を背負って育ったことを隠すことなく、新しい環境で明るく伸び伸びと羽ばたいてくれることを願ってやみません。

## 事業目的

児童養護施設・母子生活支援施設などの福祉施設や里親家庭で暮らす子ども達が自立を迎えるときに、将来の可能性のある子ども達の夢を実現できるよう支援の手を差し伸べることが事業の目的です。

## 事業内容

- 家庭環境に恵まれない子どもへの育英奨学資金の提供
- 家庭環境に恵まれない子どもへの自立支援資金の提供

上記の事業について、賛同して下さる方々と協力し、子ども達の未来を育む事業を進めていきたいと考えております。

## 役員

- 理事長 加苺 康作
- 理事 酒井 正子、上田 伸夫、米林 慶子、石山 雅男
- 専務理事 三浦 直子
- 監事 伊藤 哲夫

# 2009年度 育英奨学・自立支援 応募者の選考を終えて



諮問委員  
大坂 欣哉  
(社会福祉法人 仙台キリスト教育児院・院長)

2009年6月29日に開催された諮問委員会議の審議を経て公募された当年度の資金支援の対象者が、二次に亘る審議を経て決定されました。年度末までには送金も済みしております。実績を振り返り所感を述べさせていただきます。

## ■協会の願いと存在の意義

この支援に関わるエキスパート児童福祉支援協会会員各位の思いは「応募要項」の冒頭、「たくさんの夢や希望を持つ人を応援します」「いつか誰かの役に立てる人になってください」「多くの支援者が皆さんを応援していることを忘れないでください」という「メッセージ」に込められていると思います。

当年度の応募者数は前年度より47名多い355名でした。その中から予定人数枠を8名超えて153名の方々が最終的に選ばれました。できるだけ多くの方々を支援したいという思いと同時に、「メッセージ」に込められた高い志を持って困難に立ち向かう若者を支えたいという願いが交差します。障害児枠10名のほかに、一般枠で10名、合計20名の障害を持った若者が選ばれました。その志の高さに共感を覚えます。また、内定者153名の中で進学者は52名、就職者は101名です。18歳、高卒者の就職戦線が

ことのほか厳しかった2009年度の状況下、資金支援の重要性と共に働き人としての自覚に期待するところです。

応募者の内訳を見ますと、児童養護施設298名を筆頭に里親家庭28名、母子生活支援施設19名、情緒障害児短期治療施設7名、自立援助ホーム2名、盲ろうあ児施設1名と児童自立支援施設を除く「社会的養護」の各領域に及んでおります。これは児童福祉の分野を対象とした育英奨学資金や自立支援資金としても稀有のことであり、この一点から見ても協会の存在は意義深いものです。

## ■互いに支え合う社会に向けて

現在、児童をはじめ福祉の分野では、自発的な市民の取り組みによって互いに支え合う福祉の風土を培う必要性が語られております。そこに生み出される優しさこそが市民社会の成熟の度合いです。支援者の多くが活動するエキスパートグループの創業の理念である「全員参加の社会貢献」は日本の市民社会が向かうべき目標でもあります。一歩でもそれに向けて歩み出すことが今、求められています。荒廃の一途をたどる子どもを取り巻く環境をただ嘆くのではなく、できることから始めたのが「エキスパート児童福祉支援協会」の働きであると思います。皆様に心からの敬意を表明いたします。

# 事業報告書

2009年度(2009年4月1日から2010年3月31日まで)における  
エキスパート児童福祉支援協会の活動についてご報告いたします。

## ■ 事業の成果 【支援者：153人／応募者：355人】

児童養護施設、母子生活支援施設等の児童福祉施設、里親家庭で生活している恵まれない子ども達への育英奨学資金・自立支援資金の提供事業を実施しました。本年も昨年同様、支援予定者数を上回る子ども達からの応募申請が多く寄せられましたので、それに対応すべく選考委員会で慎重且つ公平に選考いたしました。また、支援予定者数145名(うち、進学予定者数：35%、就職予定者数：65%)と応募要項に明記して募集しました。

### ●子どもへの育英奨学資金の提供事業

児童養護施設・母子生活支援施設等の児童福祉施設・里親家庭にある子ども達の大学・短大・専門学校への進学時の入学金・学費補助として支援。

### ●子どもへの自立支援資金の提供事業

児童養護施設・母子生活支援施設等の児童福祉施設・里親家庭にある子ども達の就労自立のための補助として支援。

### ●その他、当法人の目的を達成する為に必要な事業

広報活動(会報誌制作・配布、応募要項の制作・配布、ホームページの修正補充)等の実施。

## ■ 事業の実施に関する事項 【全て特定非営利活動に係る事業】

[定款の事業名] 子どもへの育英奨学資金の提供事業		[定款の事業名] 子どもへの自立支援資金の提供事業		[定款の事業名] その他、当法人の目的を達成する為に必要な事業	
事業内容	家庭環境に恵まれない子どもへの育英奨学資金の提供	事業内容	家庭環境に恵まれない子どもへの自立支援資金の提供	事業内容	広報活動
実施日時	2009年4月～2010年3月	実施日時	2009年4月～2010年3月	実施日時	2009年4月～2010年3月
実施場所	児童福祉施設、里親家庭	実施場所	児童福祉施設、里親家庭	実施場所	主たる事務所
受益対象者人数	上記施設を18歳で平成22年3月に卒業する児童：52名	受益対象者人数	上記施設を18歳で平成22年3月に卒業する児童：101名	受益対象者	支援金対象者、施設関係者、寄付者等 (会報誌：年2回8,500部 応募要項：1,200部)
事業費の金額	780万円	事業費の金額	1,515万円	事業費の金額	303万7,000円

### ■ 「2009年度 収支報告書」 2009年4月1日から2010年3月31日まで (単位：円)

2009年度の収支についてご報告いたします。

科目	金額		金額
<b>I 経常収入の部</b>			
1 入会費収入		合計	経常収入合計
法人正会員	20,000		
個人正会員	200,000		
賛助会員	82,000	302,000	
2 寄付金収入		合計	
寄付金収入	35,846,300		36,148,300
<b>II 経常支出の部</b>			
1 事業費		合計	経常支出合計
子どもへの育英奨学資金	7,800,000		
子どもへの自立支援資金	15,150,000		
その他事業(広報活動費)	3,037,491	25,987,491	
2 管理費		合計	
	10,290,920		36,278,411
経常収支差額			△130,111
III その他資金収入(受取配当金)			168,000
IV 当期収支差額			37,889
V 前期繰越収支差額			3,141,620
VI 次期繰越収支差額			3,179,509

### ■ 「2009年度 貸借対照表」 2010年3月31日現在 (単位：円)

2009年度末時点における資産の保有状態についてご報告いたします。

科目	金額		金額
<b>I 資産の部</b>			
流動資産		合計	資産合計
現金預金	3,375,860		
未収入金	165,172	3,541,032	
固定資産		合計	
投資有価証券	35,651,700		
敷金	1,348,560	37,000,260	40,541,292
<b>II 負債の部</b>			
流動負債			負債合計
未払金		331,923	
預り金		29,600	361,523
<b>III 正味財産の部</b>			
正味財産			正味財産合計
前期繰越正味財産		40,141,880	
当期正味財産増加額		37,889	40,179,769
負債及び正味財産合計			40,541,292

※①消費税に関する会計処理方法は税込み方法で行っている。  
※②投資有価証券は寄贈により得た株式で、配当金の収入を目的として保有しているものである。

# 2009年度 支援受給者数一覧

進学 52人 就職 101人  
合計 / 153人

進学や就職をする、たくさん子ども達を支援することができました。  
子ども達からも、よろこびの声が寄せられています。

たくさんの方が私たちを応援してくれている事を思い出して頑張っていきます。支援金は就職準備や一人暮らしなどの生活の準備に使わせていただこうと思います。皆様のご恩を今度は私たちが社会貢献という形で返せるように頑張ります。(大阪府)

4月からの新しい生活は不安と期待のつまった複雑な思いでいっぱいです。4年間の大学生活では、さまざまな壁にぶつかるでしょうが、初心を思い出して打ち砕いていきたいと思っています。(石川県)

本当にありがとうございます。私は、東京都で働きながら専門学校に通います。将来の夢は、児童養護施設の先生です。(長崎県)

3月も半分を過ぎ、外もすっかり暖かくなり、梅の花も咲き始め、なんだか心も暖かくなる感じでとっても嬉しい気持ちです。(愛知県)

看護師への道は覚えることが多くとても厳しいものです。生活習慣を整え、自分自身の健康をまもり、一人前の看護師になれるようしっかりと勉学に励みたいと思います。(山梨県)

都道府県	進学	就職	合計
北海道	3	4	7
岩手県	3	2	5
宮城県	0	1	1
秋田県	0	3	3
山形県	1	1	2
福島県	1	0	1
茨城県	0	2	2
栃木県	1	0	1
群馬県	0	2	2
埼玉県	3	3	6
東京都	9	15	24
神奈川県	0	5	5
新潟県	1	0	1
石川県	2	1	3
山梨県	2	0	2
岐阜県	1	2	3
静岡県	1	2	3
愛知県	1	5	6
三重県	0	1	1
滋賀県	1	0	1
京都府	0	2	2
大阪府	2	9	11
兵庫県	1	3	4
奈良県	2	5	7
鳥取県	2	1	3
岡山県	2	0	2
広島県	1	2	3
山口県	2	0	2
徳島県	0	3	3
香川県	0	1	1
鹿児島県	1	1	2
沖縄県	3	3	6

## 2008年度に支援した子ども達からの近況報告をご紹介します!

未来へとはばたく子ども達。卒業してから半年後に、子ども達から近況報告が届いています。

### 充実した大学生活を送れるように

大学に入学してから半年が経ちました。初めの頃は不安でいっぱいでしたが、随分慣れてきました。アルバイトも始めましたが、たった数時間で疲れてしまい、実際に働いてみて改めてお金を稼ぐことの大変さを知りました。この半年を振り返ってみると、特に勉強は思っていたよりもついていくのが大変で、日頃の学習の積み重ねの大切さを思い知らされました。これからは時間をもっと有効に使い、勉強の時間を確保して励もうと思います。充実した大学生活を送れるように、これからも学業を中心に気を引き締めて頑張っていきます。

石川県 伊奈美園 出身

### 社会人としての生活をスタート

私が社会人になって半年が過ぎようとしています。仕事は思っていた以上にきつ、毎日辞めたいという言葉で頭がいっぱいです。睡眠時間も学生時代より遥かに削られ、仕事に従事する日々が続いています。しかし、世の中を見ているとそんな甘いことも言ってははいられません。採用してくれた会社のため、夢を叶えるため、育ててくれた施設、親のためにも、体調に気をつけながら頑張っていきたいと思っています。時間がある時は施設にも顔を出し、そして、今まで育ててくれた恩返しとして、何か人のためになることをしてあげられるような、立派な人間になりたいと思います。

秋田県 陽清学園 出身

## 紹介ひろば

エキスパート児童福祉支援協会は、毎年多くの子ども達を支援しています。その施設の先生方に施設内の様子や子ども達の様子をうかがいました。

# 児童養護施設 徳島児童ホーム

### 施設データ

- 施設名称 徳島児童ホーム
- 施設長 山崎 健二
- 所在地 徳島県徳島市
- 経営母体 社会福祉法人 嬌風会
- 種別 児童養護施設



## 「地域ぐるみで子ども達の『育ち直し』を支援する」

徳島児童ホームは、今年11月、創立80周年を迎えます。キリスト教の精神に基づいて、孤児や母子たちの保護を目的に運営していた創立当時の理念は、現在も変わらず、何らかの事情で家庭での養育が難しい子ども達、乳児から高校生まで54名が、温かい愛情と明るい集団生活の中で、健全な心身を育みながら、自立への道のりを歩んでいます。2003年、現在地に新築移転すると同時に、より家庭に近い環境での養育をめざし、ユニット制を導入。さらに、こども家庭支援センターや、地域の人々との交流を目的としたふれあいホールを併設し、翌年からは学童保育クラブも開始するなど、地域の子育て支援にも積極的に取り組む新しい園の構想を、着々と実現しています。「虐待や養育放棄など、不適切な家庭環境により心に傷を負った子ども達が、多

くの人達に見守られて社会の一員として自立していくためには、地域から孤立せず、できるだけ家庭的な環境の中での『育ち直し』が必要なのです」と語る山崎健二園長。センター長、保育所長を兼任する多忙な今も、宿直時には子ども達の弁当を作るとのこと。「昨年、敷地内に男女6名が職員とともに生活するグループホームをスタートさせました。すでに1996年からは、卒業前の自活訓練のための分園型ホームを設置し、6名の男子と一緒に暮らしています。そのうち、県外の企業へ就職した一人を含む2名の卒業生が自立支援資金を協会からいただきました。創立理念どおり、子ども達がどんな立場になっても、愛されていると実感できるようなかわりの中で、自分らしく生きていく力を身につけていってほしいと願っています」

## 先生からのメッセージ



児童指導員  
坂本 貴志先生

### 「一人ではないと実感してほしい」

自活訓練のためのホーム「望」に専属勤務になってから、6年になります。現在は中学生一人を含む男子6人が一緒に生活しています。皆、アルバイトや部活動をしているので、帰宅時間も食事の時間もバラバラ。私たち職員は、食事を作ったり、子ども達の面倒を見ながら、家族のようにかかっています。ただ、子ども達のほうは、生まれ育った環境からか、自分の気持ちを素直に表すことができずに、大人に気を遣いすぎたり、我慢してしまい、ストレスを溜め込むことが多い。ここは自分の『家』なんだと徐々に理解し、どれだけ自分を出せるようになるか。ああ、あと1年あればと思いながら、送り出すこともしばしばです。社会に出る不安や寂しさが増す中で、自分には多くの人に支えられてきたんだと実感する、特に金銭的に痛感することは、彼らにとっても重要です。その意味でも、貴協会のご支援は、大変ありがたく、感謝しています。

## 特定非営利活動法人 エクスパート児童福祉支援協会 入会・寄付のご案内

エキスパート児童福祉支援協会は、会員の皆様の会費と寄付金を財源として、運営されています。当協会の趣旨と事業内容をご理解のうえ、一人でも多くの方にご入会いただけますようお願いいたします。

### ●入会金及び年会費と寄付金額

※年会費は、毎年4月1日より翌年3月31日までの1か年の会費です。

		入会金	年会費	
			期中入会の初年度年会費 (10月1日から翌年3月31日まで)	
正会員	法人・団体	20,000円	20,000円	10,000円
	個人	10,000円	10,000円	5,000円
賛助会員	法人・団体	なし	5,000円	2,500円
	個人	なし	3,000円	1,500円
寄付		1,000円から承ります		

注) ①賛助会員は議決権を持ちません。

②当協会は、認定NPO法人ではありませんので、寄付金控除の税の優遇処置適用に該当しません。ご了承のうえ、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。

### ●入会手続きと寄付のお申込み

入会・ご寄付に関するお問い合わせは、直接協会までご連絡ください。申込書をお送りいたしますので、ご記入後郵送、またはFAXで送っていただき、入会金・年会費・寄付金は下記の口座へお振込ください。振込手数料、郵送料金はご負担いただきますよう、お願い申し上げます。

### ●お振込先

三菱東京UFJ銀行 堀留支店 普通4518354  
とくていひえいりかつどうほうじん エクスパート児童福祉支援協会

ゆうちょ銀行 〇一九店 当座0362052  
ぜろいちきゆう ほうじん エクスパート児童福祉支援協会

### \* 支援者からの声 \*

大阪府 多久 早織さん

児童養護施設に入所する子ども達は、自分自身に問題があるのではなく、さまざまな事情や家庭環境を背負って暮らしています。私は、以前ボランティアに行ったことをきっかけに児童養護施設とのご縁が始まり、子ども達は、高校を卒業すると施設を出てゆかねばならないという状況を知りました。毎年X'mas会に招待してもらい、そこで子ども達のキラキラした目に触れ、心があらわれると共にたくさんの元気をもらい、ボランティアに行った自分のほうが

くさんのものをいただいたという気持ちになります。ある時、エキスパートグループがこうした施設の支援をしていることを知り、その活動に感動し、すぐに会員となりました。今は間接的ですが、子ども達の明るい未来のために、少しでもお役に立てればと思っています。また、当NPO法人が子ども達に直接支援の手を差し伸べていることを、多くの方々に知っていただき、支援の輪がさらに広がってゆけばいいなと心より思います。

### 2010年度 育英奨学・自立支援のお知らせ

【受付期間】 2010年12月1日～2011年1月25日必着  
12月1日より2010年度の育英奨学・自立支援資金制度の申請受付を開始します。

【応募要項】 8月以降に確定します



2010年度 育英奨学・自立支援資金の応募要項は、8月以降に確定します

### 申請受付から選考、支援完了までのプロセス

12月1日～

書類受付  
開始

- ・申請書
- ・推薦状
- ・本人の作文
- ・質問用紙
- ・調査書
- ・施設パンフレット
- ・志望校案内書
- ・児童委託証明書
- ・親権者の  
収入証明書

1月25日  
応募締め切り

2月末日

結果通知  
発送

- 送金に必要な  
書類の提出受付
- ・誓約書
  - ・銀行口座届出書
  - ・合格・内定通知

3月20日

送金受付  
締め切り

入金を確認した  
ら受領書を送っ  
てください。

4月末日

在学・在籍  
証明書提出

学校、就職先で、  
出してもらった  
ものを、送って  
ください。

8月1日

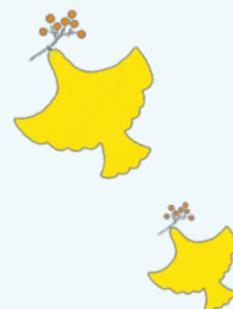
近況報告書  
提出依頼

こちらから、用紙  
を送りますので、  
ご記入のうえ、提  
出してください。

～10月末日

近況報告書  
締め切り

提出をもって支  
援完了とします。



特定非営利活動法人

**エキスパート児童福祉支援協会**

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10-10 日本橋インテリジェントフラッツ402

電話：03-5642-6330 FAX：03-3249-7730 E-mail：info@ex-child.or.jp

<http://www.ex-child.or.jp>